

ユーパ

|E|Ü|P|A|

TSI-AC04R

リモコン付き冷風扇(家庭用)

AIR COOLER

CONTENTS

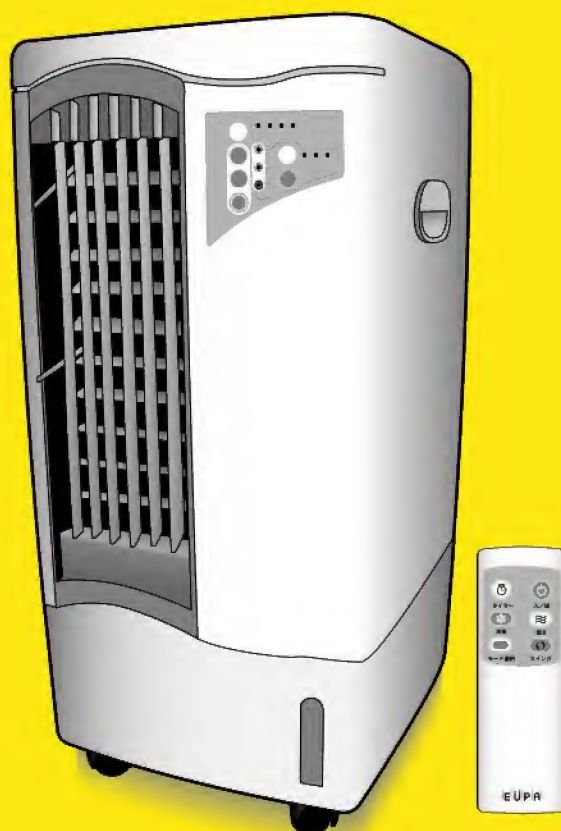
- 1.安全上のご注意.....P.1
- 2.各部のなまえ.....P.2
- 3.仕 様.....P.2
- 4.ご使用の前に.....P.3~4
- 5.ご使用方法.....P.4~5
- 6.お手入れのしかた.....P.6~7
- 7.修理を依頼される前に.....P.8
- 8.アフターサービスについて.....P.8
- 9.保証書.....P.9

このたびは弊社製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。ご使用前に、この取扱説明書を最後までお読みのうえ、正しい使い方で末永くご愛用ください。お読みになった後は、大切に保管して下さい。

別 売 部 品		
品 名	商 品 番 号	価 格
冷却タンク1個	S0294	¥1,000
リモコン	S0295	¥2,640
ダストフィルター	S0296	¥2,980




取扱説明書

保証書在中



1. 安全上のご注意

●ご使用前に、この『安全上のご注意』をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、お読みになった後は、大切に保管してください。製品本体及び取扱説明書には、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。お子様がお使いになるときは、保護者の方が取扱説明書の中身をお読みになり、正しい使い方を御指導ください。表示と図記号は下記のようになっています。内容を理解してから本文をお読みください。

	危険	『取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷(※1)を負うことがあります、その切迫の度合いが高いこと』を示します。
	警告	『取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷(※1)を負うことが想定されること』を示します。
	注意	『取扱いを誤った場合、使用者が傷害(※2)を負うことが想定されるか、または物的損害(※3)の発生が想定されること』を示します。

絵表示の例


















○記号、「禁止」(しないでください)を示します。



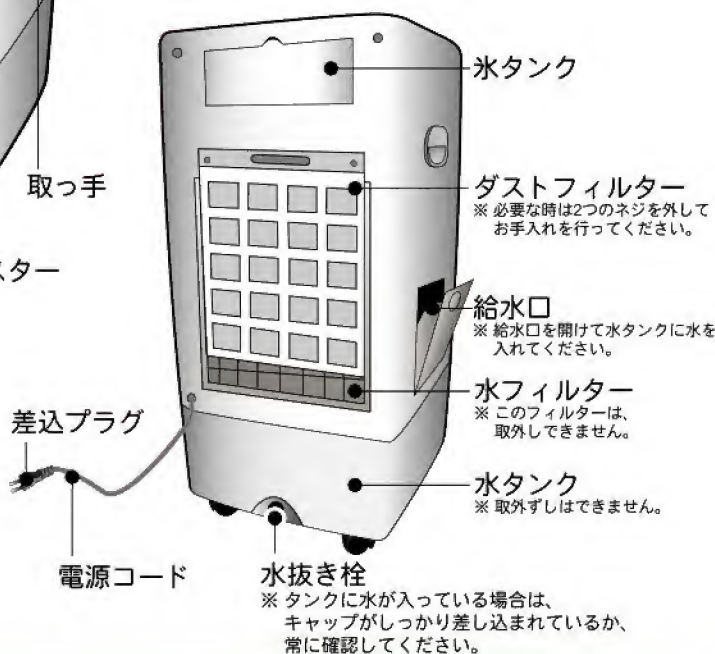
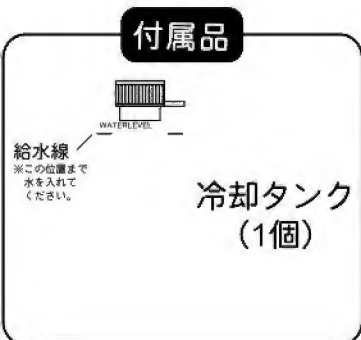
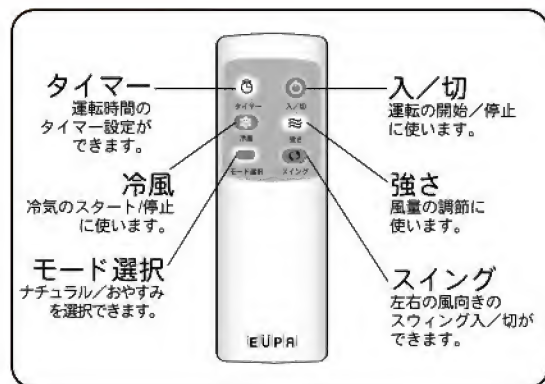
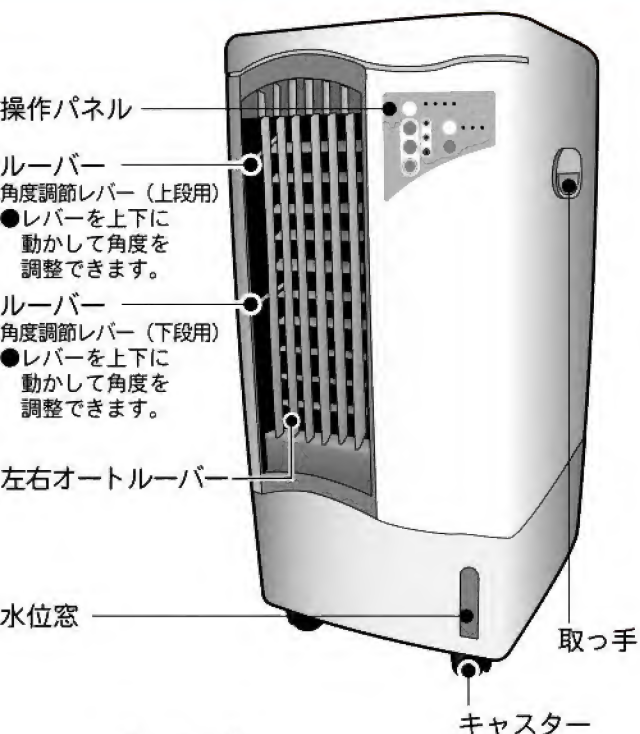
●記号、「強制」(必ずしてください)を示します。

※1: 重傷とは失明やけが、やけど(高温・低温)、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
 ※2: 傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが・やけど・感電などをさします。
 ※3: 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

 警 告			
	お手入れの際は、必ず差込プラグをぬいてください。 ●感電・やけど・けがをする恐れがあります。		濡れた手で差込プラグを抜き差ししないでください。 ●感電・やけど・けがをする恐れがあります。
	修理技術者以外は、絶対に分解したり、修理・改造をおこなわないでください。 ●発火したり、異常動作してけがをすることがあります。		水につけたり、水をかけたりしないでください。 ●感電・ショートのおそれがあります。

 注 意			
	使用時以外は、差込プラグをコンセントから抜いてください。 ●けがややけど、絶縁劣化による感電、漏電火災の原因になります。		電源コードを傷つけたり、破損させたり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、たばねたり、重いものをのせたり、はさみ込んだりしないでください。 ●電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。
	差込プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の差込プラグを持って引き抜いてください。 ●感電やショートをして発火の原因になります。		周囲に障害物があったり、不安定な場所では使用しないでください。 ●転倒や事故の原因になります。
	吹排気口へは絶対に指や金属棒などを入れないでください。 ●破損や故障の原因となります。		風を長時間、からだにあてないでください。 ●健康を損なう恐れがあります。特に乳幼児、お年寄り、病気の方は注意してください。
	交流100V以外の電源は使用しないでください。 ●感電・火災の原因となります。		スプレーをかけないでください。 ●樹脂や塗装部分に変質したり、破損する原因になります。
	冷風運転は窓を開けて行ってください。締め切った室内で長時間ご使用になりますと、冷風にならない事があります。必ず窓を開けてご使用ください。		上に子供がのったりすると危険ですのでご注意ください。 ●けがをする恐れがあります。
	ご使用にならない時は電源を「切」にして差込プラグを抜いてください。 ●差込プラグを抜く時は必ず差込プラグを持って抜いてください。		ダストフィルターは必ずセットしてご使用ください。ダストフィルターの掃除時など、本体から外しているときは運転しないでください。 ●モーター部が過熱し、故障や事故の原因になります。
	衣類などの乾燥には使わないでください。 ●破損や故障の原因になります。		水道水以外は使用しないでください。お湯(40度以上)や薬品洗剤などは本体やダストフィルターをいためます。 ●樹脂や塗装部分に変質したり、破損する原因になります。

2. 各部のなまえ



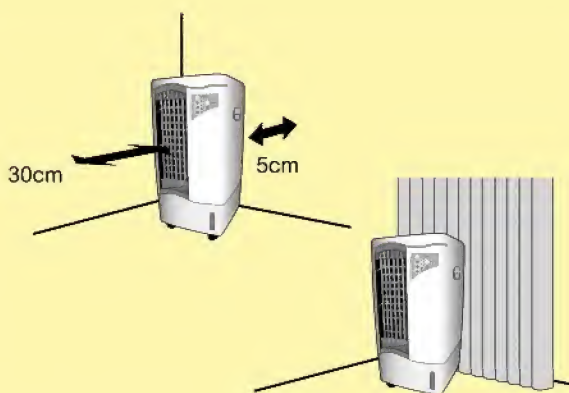
3. 仕 様

電 源	交流100V 50Hz	交流100V 60Hz
消 費 電 力	40W	45W
水タンク容量 (約)	5.5ℓ	
平均消費水量 (約)	0.3 (ℓ/h)	
コード長さ (約)	1.85m	
質 量 (約)	6.8kg	
大 き さ (約)	幅30cm×奥行30cm×高さ63cm	

4. ご使用の前に

1. 設置場所についてのご注意

裏面のダストフィルターをふさがないように、壁からは5cm以上離し、前面30cm以内には物を置かないようにしてください。



本体裏面側にカーテンがある場合は、ダストフィルターにカーテンが触れないよう、ご注意ください。

⚠ 注意

- 本体を水平でしっかりしたところに設置してください。
- 暖房器具の近くなど、熱があたるところでは使用しないでください。
- 直射日光のあたる場所や極端に高温になる場所では使用しないでください。
- 家具や家電製品、壁などに直接風があたる場所では使用しないでください。
- テレビ、ラジオ、オーディオ製品などの側に置くと、雑音が入る恐れがあります。これらの機器の側からはできるだけ離して設置するようにしてください。

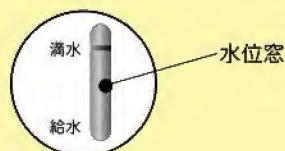
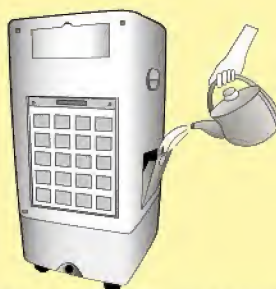
2. 給水のしかた

⚠ 注意

- 給水の前に、差込プラグがコンセントから抜いてあるか必ずご確認ください。
- 給水の前に、水抜き栓にキャップがしっかりと差し込まれているか確認してください。

給水口を開き、やかんなどでゆっくりと水を入れてください。

水を入れる時、本体正面の水位窓を見ながら満水ラインを超えないよう注意して入れてください。



水タンクは満水ラインで5.5リットルの容量があります。

(タンク自体の総容量は7.5リットルありますが、満水ラインを超えると移動時に水がこぼれる原因となりますのでご注意ください。)

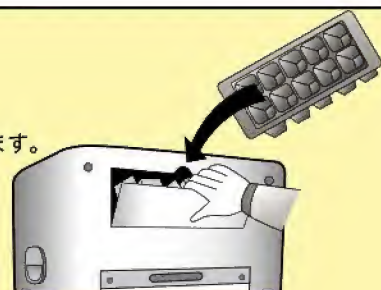
⚠ 注意

- 水は水道水をご使用ください。井戸水や湧き水を使用すると、不純物が水フィルターに付着し、運転能力が低下する恐れがあります。
- お湯(40度以上)は絶対使用しないでください。水タンクが変形する恐れがあります。
- 水位が水位窓の「給水」まで下がったら、水を補給してください。
- 水はゆっくり入れてください。給水口より水があふれて床をぬらしたり、本体内部に水がこぼれる恐れがありますのでお気を付けください。

4. ご使用の前に

3. 氷の入れ方

この製品は氷タンクに氷を入れることで、より一層涼しくお使いいただけます。



4. 冷却タンクについて

- 冷風運転でさらに冷たい風を送りだしたい場合にお使いください。
- 冷却タンクを使用する場合は、本体に水滴が付き、床を濡らす恐れがありますので、本体をトレー（本体には付属していません）等の上に置いてからご使用ください。

- 1.冷却タンクに水を入れた後、蓋をしっかりと閉めて冷凍庫に3～4時間入れて凍らせます。
- 2.水タンクに水が入っている場合は、一度風呂場等で水を抜いてください。
※冷却タンクを入れることにより、水量が増え、水漏れ等の原因になります。
- 3.給水口を開いて、凍らせておいた冷却タンクを入れた後、給水してください。
※お好みにより冷却タンクの数を増やしてください。（冷却タンクは2個付属しております）



⚠ 注意

この冷却タンクには、冷却剤（高分子吸収体の粉末）が入っています。

- 冷却剤が皮膚についた場合は、せっけん和水でよく洗ってください。
- 誤って冷却剤を飲み込んだ場合は、直ちに医師の診断を受けてください。
- 眼に入らないように注意してください。万一誤って眼に入った場合は直ちに水でよく洗い、眼科医の診断を受けてください。
- 冷却剤の粉末を吸入しないように注意してください。

■お知らせ

冷却タンクは水を入れることにより、冷却タンクの中の冷却剤がゼリー状になります。

2回目からは水を入れる必要はありません。そのまま冷凍庫に3～4時間入れて、十分凍らせておいてからご使用ください。

■上手なご使用方法

- 窓、ドアの近くなど換気がよく、日陰になっている場所に置いてご使用ください。
- エアコンの補助冷房としてお使いになると効果的です。
- 水を使う量は天候や温度に左右されます。湿度が比較的低く、温度が高い（24～35度）ときは、満水状態で16時間から18時間運転できます。

5. ご使用方法


ご使用の前に差込プラグをコンセントにしっかり差し込んで下さい。

⚠ 注意

- 必ず100V、15A以上の専用コンセントを使用してください。
- 同じコンセントから他の電気製品を同時に使用しないでください。
- ぬれた手でコンセントの抜き差しをしないでください。
- 吸気口や吹出口には、指や金属棒などを入れないでください。

5. ご使用方法

1. 運転の開始


電源ボタン  を押してください。

2. 風量の調節

お望みの風に風量調節ボタン  を押して合わせてください。


ボタンを押すごとに 弱→中→強→弱とランプが移動します。

3. タイマー運転

タイマーボタン  を押すと自動停止時間を設定できます。


ボタンを押すごとに 0.5 → 1 → 1.5 → 2・・・最大7.5時間消灯とランプが移り、お好みの時間にタイマーを設定できます。

4. 冷風運転

冷風ボタン  を押すと冷気が流れます。


※水を注水しないと、冷気は流れません。

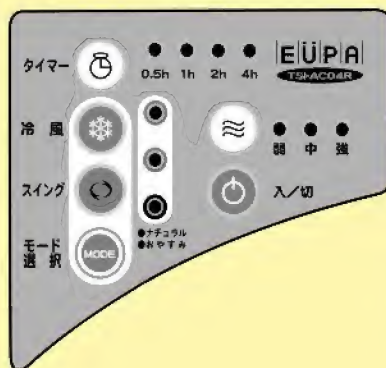
5. スイングの調節

スイングボタン  を押すと自動的に左右にスイングします。

もう一度押すと停止します。

6. モード選択

モード選択ボタン  を押すとナチュラル風→おやすみ風→消灯とランプが移りお好みの風に設定できます。



ナチュラル風：運転中はランプが緑色に点灯します。

ナチュラル風は間隔で風の強弱を繰り返し、自然に近い風をお届けします。

おやすみ風：運転中はランプが赤色に点灯します。

おやすみ風は風量が変わり設定された時間に自動的に止まります。


リモコンの使用

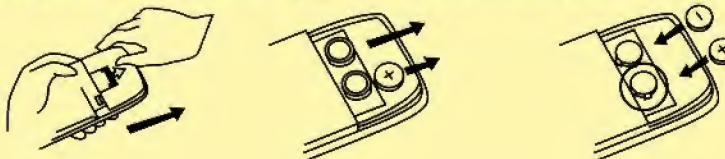
リモコンにより同様の操作をすることが可能です。

※リモコンによる設定内容は本体側の操作パネルのランプで表示されます。



● **電池の交換** 電池ふたを外して市販のLR44型ボタン電池 (1.5V)2個を下記の通り正しく交換してください。

- 1.電池ふたの爪を矢印の方向に押し、電池ふたを取り外します。
- 2.新しいボタン電池をホルダーの中に  の向きに注意しながら電池を交換してください。
- 3.電池を元通りに交換し終わったら、電池ふたの爪を矢印の方向に押し下げて電池ふたを閉めてください。




- 電池は必ず2個共、新しいものに交換してください。
- 電池の極性 (+, -) を誤ると器具の損傷だけでなく、火災や漏液による重大な事故の原因になります。
- 古いアルカリ電池を放置したり、極性 (+, -) を誤って使用すると、強アルカリ性の有毒物質が漏れ出して大変危険です。万一、液漏れが発生した場合は、直接手で触れずに、漏液や器具を大量の水で洗い流してください。その後、よく自然乾燥していただき、動作異常の場合は、修理をご依頼ください。

付属の電池は機能試験用です。動作距離が短くなったり、動作しない場合は新しいLR44型ボタン電池に必ず2個共交換してください。

6. お手入れの仕方

いつまでも快適にお使いいただくため、適切なお手入れを行ってください。

⚠ 注意

- お手入れの前には  「入/切」を押して運転を止め、差込プラグをコンセントから抜いてください。

本体のお手入れ

ぬるま湯（40℃以下）か洗剤をふくませた布で汚れを拭き取ってください。

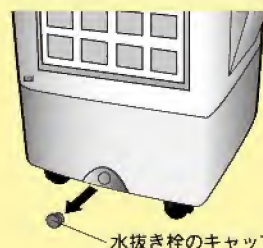
- 洗剤で拭いた後は、水洗いした布を絞って洗剤をよく拭き取ってください。

お願い

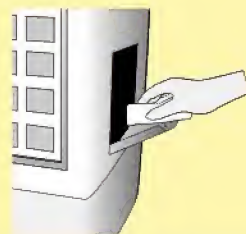
- お手入れには中性洗剤を使用してください。シンナー・アルコール・ベンジンなど使用しないでください。破損・変質の原因になります。
- 化学ぞうきんを使うときは、その注意書きに従ってください。
- スプレーをかけないでください。（掃除用、殺虫剤、整髪用など）破損・変質の原因になります。

- 水タンクの水は定期的に交換してください。

- 水タンクの水抜きは風呂場など、水があふれてもよい場所で、本体背面下部の水抜き栓のキャップを抜いて行ってください。水を抜いた後は、キャップをしっかりと差し込んでください。



- 柔らかい布で内部をきれいに拭いた後、本体を風通しのよい場所に置いてよく乾燥させてください。水タンクは1ヶ月に一回以上掃除してください。



⚠ 注意

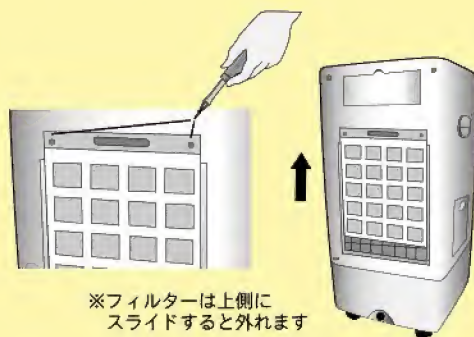
- ダストフィルターを外したままで、使用しないでください。（故障の原因になります。）
- 洗濯機では、洗わないでください。（フィルターがいたみ、ダストフィルター枠にセットできなくなります。）
- 本体の汚れは、水、又は中性洗剤を含ませた布で、ていねいに拭いてください。
- ベンジン、シンナーなどは使用しないでください。ひび割れ、変色、変形の原因になります。
- お手入れの後、忘れずに、ダストフィルターを取り付けてください。

6. お手入れの仕方

ダストフィルターのお手入れ

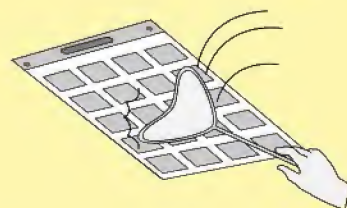
ダストフィルターにごみやほこりが付着しますと、送風量が少なくなりますので下記の要領で1ヶ月に一回以上掃除してください。

1. 背面のダストフィルターの枠の角の2ヶ所にプラスドライバーでネジを取外してから上側に引くと、枠はずれます。



2. ダストフィルターの掃除をします。

- ダストフィルター枠からダストフィルターを取り外します。
- ほこりを軽くはたき、手で軽く水洗いをし、干してください。



3. ダストフィルターをもとに戻し、枠下部の凸部を本体凹部に差し込み、枠上部をはめて、ドライバーで2つのねじを固定してください。

長時間ご使用にならないときは

- 水タンクに残っている水をすてます。
- 本体や吹出口をお手入れします。
- 風通しのよい場所で保管してください。本体は、箱に入れるか、ほこりがかからないようにカバーをしてください。必ず立てた状態で保管してください。

■保管する時

- 長時間使わないときは、必ず水タンクの水を捨て、本体内部の水フィルター、ダストフィルター等が完全に乾燥していることを確認してから保管してください。
- 水フィルターにほこりが付着している場合は、掃除機でほこりを吸い取ってください。
- 本体を袋に入れ、包装ケースまたは手持ちの箱に包装してから湿気のないところに保管してください。

■冷却タンク保管上の注意

- 幼児の手の届かない場所に保管してください。
- 冷却タンクのふたをしっかりと閉めてから、直射日光の当たらない湿気のない場所に保管してください。

7. 修理を依頼される前に

次の点をお確かめください。

ファンが動かない	差込プラグがコンセントに確実に差し込まれていますか？ ● 入/切ボタンを押しましたか？
イヤな臭いがする	水タンクやダストフィルターがよごれていませんか？
冷気が出てこない	水タンクの水は充分ですか？ ダストフィルターがほこり等でよごれていませんか？
リモコンで操作できない	電池が消耗していませんか？ 電池の入れ方（⊕ ⊖ の方向）は間違っていないですか？

8. アフターサービスについて

- 1.保証書は必ず「お買い上げ年月日」と「販売店名」等所定事項の記入及び記載内容をご確認のうえ、お買い上げの販売店からお受け取りください。記載内容をよくお読みになり大切に保管してください。
- 2.保証期間は、お買い上げ日から1年間です。保証期間中に修理を依頼されるときは、お買い上げの販売店まで保証書を添えて商品をご持参ください。保証書の内容に従って修理いたします。
- 3.保証期間経過後の修理についても、お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって、機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。
- 4.この製品の補修用性能部品の保有期間は製造打切後5年です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- 5.製品に異常がある場合には、お客様ご自身で修理されたり、手を加えたりすることは危険です。絶対にしないでください。
- 6.アフターサービスについてご不明な点は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

サンクン

燦坤日本電器株式会社 〒110-0016 東京都台東区台東1丁目24番1号

お客様専用ダイヤル **03-3837-1235**

受付時間：月～金曜日 9時～12時／13時～17時（土、日曜、祝日はお休み）

<http://www.tsannkuen.jp>